

小企画「大阪平野のジオアーケオロジー 調査・研究最前線」

第252回研究会（大阪例会）では、“遺跡と地層の勉強会（第16回）”との共催企画として、下記のようなプログラム企画しました。考古学研究会70周年記念誌『考古学の輪郭』の第6章の内容と深くかかわり、「堆積」「地質」「地形」「地形発達過程」「環境変化」「降水量変動」「集落動態と人間活動の関係」といったキーワードをもとに、考古学をめぐる学際的かつ実践的な研究事例についてご紹介をいたします。ふるってご参加ください。

日 時 2025年1月31日（土）14:00～17:00

※ 開始時刻が通常とやや異なります

場 所 大阪市立自然史博物館 集会室

〒546-0034 大阪府大阪市東住吉区長居公園1-23

※ 西側の一般入館口ではなく、南側の通用門から入館し、守衛に「考古学研究会」とお伝えください。

交 通 メトロ御堂筋線長居駅（3番出口）・JR阪和線長居駅から約15分

内 容 「ショートトーク 最近の調査現場の紹介など」

「『先史・古代の河内平野南部地域の古地理復元を通じた
ジオアーケオロジーの実践研究』（2020）の成果と課題」

大庭 重信（大阪府文化財センター）

「ジオアーケオロジーと高時間分解能古気候学の連携の可能性」

井上 智博（大阪府文化財センター）

「沖積低地の地形解釈にもとづく古代淀川低地の耕地開発と治水戦略」

別所 秀高（奈良文化財研究所）

進 行 中条 武司（大阪市立自然史博物館）、笹栗 拓（大阪府文化財センター）



大庭科研 QR

【連絡先】 考古学研究会関西例会・事務局

〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町2500

滋賀県立大学人間文化学部地域文化学科考古学研究室

E-mail kansaireikai@gmail.com

なお、午後の研究会の前座として、午前中には下記の“遺跡と地層の勉強会”によるオプションプログラムを催します。ご興味のある方はご参加ください。

「大和川河川堆積物の検討」

集合 JR阪和線「杉本町」駅 西口改札前 9:00

現在の大和川河川敷にトレンチを掘って観察し、どのような堆積作用で、どのような地層ができるのか考えます。動きやすい服装で、手ガリ・飲み物など各自持参。

自然史博物館では、2/1（日）まで特別展「学芸員のおしごと」を開催中。大坂城下町跡や矢田遺跡の地層の剥ぎ取り標本などが展示されています。研究会の前などにご覧ください。
<https://omnhjo/tokuten/2025oshigoto/>

